

# 実況中継「土曜講座」

第16号 2026年2月14日発行

市川学園2月7日の土曜講座 於 國枝記念国際ホール

中木 健二 先生

聴く・伝える～コミュニケーションの楽しみ～

チェリスト 東京藝術大学准教授



## 中木健二先生のご紹介

2003年 東京藝術大学を経て、渡仏。パリ国立高等音楽院に入学。  
2007年 パリ国立高等音楽院を首席で卒業。  
2009年 スイス・ベルン芸術大学ディプロマコースを首席で卒業。  
2010年 フランス国立ポルドー・アキテーヌ管弦楽団 首席就任  
2014年 東京藝術大学 准教授

第5回ルトスワフスキ国際チェロコンクール第1位など、  
数々の国際コンクールで多数受賞。

## 主な講義内容の紹介

2026年2月の土曜講座は東京藝術大学准教授であり、チェリストとしてもご活躍の中木健二先生によるご講演でした。講演はチェロの演奏からスタート。國枝ホールに響くチェロの音色は、一気に参加者の心をつかみ、ホール全体に心地よい空気をもたらしていました。

さて、今回のご講演は「ここにいる皆さんより、受験した回数が多い自信がある」と仰る中木先生の半生を振り返る内容でした。3歳からチェロを始めた中木先生は、途中、チェロから心が離れてしまうこともあったそうですが、それでも15歳まではチェロを続けてほしいという母の想いを果たそうと練習を続けたそうです。そして、懸命に練習をして臨んだ15歳のコンクール。結果こそ振るわなかったものの、これがチェリストを志すきっかけとなりました。「14歳でやめていたら、チェリストにはなっていなかった。母には先見の明があった」と語る一方、それまで12年続けてきたことをやめる怖さについても語っていたのが印象的でした。継続は力、という言葉もありますが、まさにそこには継続した人だけが持つ強さがありました。

そして、ご講演の最後には「聴く」ということを意識してほしいというお言葉が。教室の授業、友達や家族との会話、楽器の演奏……マイクやスピーカーを通さない、生の音をぜひ聴いてほしい。デジタル機器やICTが発展した現在、改めて目の前で奏でられる音声の大きさに気付かされた講座となりました。

## 受講レポートから



・ 今回の講演はチェロに留まらず、先生の人生観にわたるものでとても面白かったです。例えば2006年のスランプ中の恩師との出会いの出来事では、失敗をおそれないというチャレンジ精神の大事さを知りました。(中2男子)

・ 高校を転校したり、海外の大学に入学したり、チェロに対しての思いが強くて勇気がすごくあって、すごいなと思った。こんなすごい経験をした人の過去を聞けるのは、なかなかできないことなので、とても面白かったです。(中2女子)

・ ただ1つのことだけに専念するのではなく、いろんなものに対して挑戦してみることも必要で、努力は裏切らないということがわかりました。そして「聴く」ことは1番大事だということもわかりました。友達や先生、家族の「声」、生、直接の「声」に耳をよく傾けて聴くことを大切にしたいです。(中2女子)

・ チェロの音が本当にきれいで、心臓に刻まれるよう。低音が響いていて感動。2回目の演奏では音が残り、響いていて、まるで複数人で演奏しているように聞こえた。屋下がりに暖かい日の入ってくる静かな廊下を歩いているような、のどかな気持ちになった。ずっと聴いていたいと思った。(中2女子)

・ 恐らく一生忘れない講座だと思います。最後の演奏では泣きそうになりました。音楽にはあまり明るくない私ですが、音楽が持つ人を感動させる力を初めて認識したと思います。私も美術で人を動かす職に就きたいと思っているので、今日の講演は本当にためになりました。演奏を聞いた時の気持ちを忘れないようにしたいです。

(中3女子)



・ 人のことを信じてよく話を聞くことが、電子機器を通して音を聞くことに根本的な違いがあることが分かった。チェロの音を動画で聞いたことはあったけど、実際聞くと本当に全然違ったので説得力があるなと思った。(中3女子)

・ 最初は母親に始めさせられたとおっしゃっていたチェロが、色々なことを経験していくうちに、自分の意思でチェロを続けるという気持ちになっていったというのがとても興味深かった。(高1男子)

・ 音楽だけではなく言語や世界情勢の知識が必要だとおっしゃっていてとても納得しました。素晴らしい演奏もありがとうございました。この曲が終わってほしくないなという気持ちで聴いていました。(高1女子)

・ 中木さんは自分にはない意志の強さと継続力、行動力を持っていらっしゃるなと感じました。様々な苦労やハプニングを乗り越えながらも、常にチェロが軸にあるというのがとてもすごいと感じ、自分も軸となるものを見つけたいと感じました。(高2男子)

・ この講座を通して、コミュニケーションは言葉だけでなく音や気持ちのやり取りでも成り立つことを知った。中木さんの話から、相手の存在を意識し、丁寧に聞くことが、信頼関係を築く第一歩だと感じた。普段の生活では、自分の考えを伝えることばかりを意識しがちだが、これからは相手の話や気持ちに耳を傾けることを大切にしたいと思った。(高2男子)



(文責：早川 隆文 先生)